

JGA 全国通訳案内士研修テキスト【2】関東(清水港)

エリア別案内マニュアル 改訂 2022 年 12 月

目 次

1. 実習にあたって	1
2. 都内	3
3. 日光	37
4. 富士山・箱根	48
富士山エリア	50
箱根エリア	55
5. 鎌倉	64
6. 横浜	71
7. 清水港からのショアエクスカーション	83

この冊子は、一般社団法人日本観光通訳協会（JGA）の全国通訳案内士新人研修会をはじめとする研修のテキストとして使用しています。

本テキストは 2022 年 11 月現在のデータ・事情に基づいて編集しています。施設の環境や各種サービス、規則等の運用ルール、その他の諸事情は、刻々と変わっていきます。常に下見や確認をし、最新の情報を得るよう心がけてください。なお、本テキストに記載した施設・サービスの中には、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行による観光客の激減や国際航空便の減便の影響、また、感染拡大防止措置の観点から、一時的に休業・閉鎖したり、サービスを縮小・変更・休止したりしているものがありますが、インバウンド回復後に備えるため、休止前の状況を記載している箇所もあります。インバウンドを含む観光の回復にあわせて再開していくものと期待されますが、利用する前に必ずその時点での状況を確認してください。なお、本文中では関連する状況・事情を「コロナ禍」と短縮して表記しています。

【皇居】

都心に大きな面積を占める皇居。日本の歴史伝統を象徴するものとして、訪日客の関心も高い。しかし、観光対象としては、何をするのか、何を見るのか漠然とした場所でもある。Imperial Palace というが、「宮殿」が見られるわけではない。「なんだ」という気分にならないよう、説明・案内にも一工夫が必要。皇居としての役割と、江戸城の遺構であることを意識した案内を考える。観光としては、車窓、二重橋、東御苑のいずれかの形が一般的。旅行会社の仕事の場合は意図を確認のこと。

- ・一般に「皇居」と呼ばれているものは、

皇居（宮内庁管轄）：宮殿、吹上御苑（御所、吹上大宮御所、宮中三殿など）、宮内庁庁舎、東御苑（一般に公開）など。

皇居外苑（国民公園、環境省管轄）：皇居外苑地区（皇居前広場）、北の丸地区や濠を含む。

- ・東御苑を除き、皇居の門内に入るのは、定員制の参観（事前申込又は当日先着順での受付）に参加するか、一般参賀日（新年1月2日と天皇誕生日の2月23日）、2014年以降春秋に実施されている皇居乾通りの一般公開（実施されない場合あり）のみ。いずれの場合も宮殿内部には入場できない。宮殿は一般公開されておらず、門外からは建物外観も見えない。（2014、2015年に人数限定で宮殿内部の特別公開が初めて行われたが、今後の公開予定は発表されていない）。

※コロナ禍中で実施されなかった乾通りの一般公開が2022年11～12月に3年ぶりに実施される。2023年の新年一般参賀は事前申し込み制で実施予定。

- ・行事、陛下のお出まし、賓客訪問、外国大使の信任状捧呈式などで交通規制や立入規制がかかることがある。宮内庁又は外務省ホームページ（国賓・海外要人など）を参照。

- ・パレスサイクリング：（2022年秋より再開）

日曜日の10:00～17:00、平川門交差点～祝田橋交差点間の内堀通りが車両通行止め、往復約3kmのサイクリング道となる。日比谷通りにかけて周辺の一部道路も規制対象。雨天中止。行事などで行われない日曜日もある。（2018年まで自転車無料貸し出しがあったが現在休止。）

<https://www.jbpi.or.jp/palace.php>

- ・皇居を反時計回りに一周するランニングコース「皇居ラン」（約5km）が人気（景色が良い、信号が無い）だが、歩行者・観光客との接触などのトラブルも報告されている。マラソン、駅伝などのイベントも開催されている。
- ・千代田区は路上禁煙。皇居外苑も喫煙所は撤去され、全面禁煙となった。ゴミも持ち帰りが基本。
- ・皇居外苑（皇居前広場）は夜間も含め常時開放。二重橋を眺める地点までは常時行けるが、二重橋の橋詰めまで近寄れる時間帯は原則として東御苑開園時間と同じ。
- ・芝生広場は、原則として内堀通りを境に皇居側は入れない。楠公駐車場寄りは入ってよい。

車窓観光

- ・内堀通りで皇居外苑を走行、二重橋を見せる。宮内庁、櫓なども見える。

- ・日比谷通りや内堀通りを濠沿いに皇居の外周を走行し、門や石垣、濠、櫓など江戸城の遺構を見る。

車窓観光でも日程表などに明記されている場合は、皇居外苑を走行し、対象がはっきりとして知名度もある二重橋を見せた方が無難。日曜日はパレスサイクリングの交通規制に注意。

皇居外苑（皇居前広場）・二重橋

江戸時代は大老、老中の屋敷が並んでいた一帯。都心では珍しい開放的な空間と、約2,000本のクロマツが車窓でも目を引く。皇居前広場は、内堀通りから皇居側の玉砂利広場と内堀通りと外堀の間にある芝生緑地で構成される。「二重橋」は「Imperial Palace」として日本紹介の写真にもよく使われ、東

京訪問の象徴的存在。濠にかかる二本の橋、皇居正門、伏見櫓の景観が人気の写真スポットでもある。手前の正門石橋、奥の正門鉄橋を総称して「二重橋」と一般に呼ばれるが、名の由来は、江戸初期の奥の橋が二重構造だったためと言われる。明治宮殿（1888年落成）造営前後に、手前の橋は石橋、奥の橋は鍛鉄製（1964年にさらに現在の橋に架け替え）となった。橋に設置された電燈（点灯は1893年からと伝わる）や濠沿いの高欄には、西洋の意匠が用いられている。

皇居前広場は原則常時開放されているが、行事に伴う特別警備などの理由で制限されることがある。皇居外苑は全面禁煙（楠公駐車場にあった喫煙所は閉鎖された）。ゴミ箱は自動販売機に付随する缶・ペットボトル用のみ。その他のゴミは各自で持ち帰り。

バスの場合：

楠公駐車場を利用し、二重橋まで往復するのが一般的。楠木正成像、芝生広場（立入可と不可の芝生）を通り、内堀通りを渡って二重橋まで歩く。所要35～45分。

楠公駐車場 ☎03-3231-5509（平日 08:30～17:00） ☎03-3231-0878（土日祝 09:00～16:00）

皇居観光の大型営業車両（緑ナンバーバス）と観光タクシーのみ駐車可。駐車中エンジン停止（＝エアコンが使えない）。トイレ有り。レストハウス内と楠木正成像脇に売店。喫煙所はトイレそば。

08:30～17:00（最終入庫 16:30）。駐車料金（清掃協力費）観光バス3時間まで3,000円、4時間以降6,000円（当日最大料金6,000円）、観光タクシー1回1,000円。レストハウス内の精算機で支払う。パレスサイクリングの行われる日曜も駐車場は利用可能だが、内堀通りが通行止めとなるため、駐車場出口（馬場先門寄り）より進入・退場となる。

車椅子利用者がいる場合などは、事前申請により特例として白ナンバー車も駐車可（環境省皇居外苑管理事務所 ☎03-3213-0095）。 <https://fng.or.jp/koukyo/access/parking-nanko/>

楠木正成像

別子銅山を開いた大阪の豪商住友家が開坑200年を記念して東京美術学校に制作を依頼。頭部は高村光雲（1852～1934。東京美術学校教授、詩人光太郎の父）、馬は後藤貞行など、複数の教授・学生により1896年に完成。台座の完成を待ち、1900（明治33）年に二重橋外に献納。楠木正成：伝1294～1336。

◆練習：ここで何を説明するか？考えてみてください。以下は参考例。

「楠木正成という人物」「なぜ、楠木正成像がここにあるのか」

「日本で最初の西洋式銅像の一つ」「武将の甲冑」「像のできた時代背景」

セダンの場合：

二重橋前交差点近く（横断歩道付近は不可）で下車し、東京駅に向かう交通量の少ない場所や法務省脇（二重橋から濠沿いに歩き桜田門から出る）などに待機してもらう。ドライバーの携帯番号を聞き、いつでも電話連絡ができるようにしておく。綿密な打ち合わせが必要。

地下鉄の場合：

二重橋前駅又は日比谷駅より外苑を通って二重橋へ（かなり歩く）。又は、桜田門駅、霞ヶ関駅から桜田門を通って二重橋へ。

東御苑 ☎03-3213-2050 皇居東御苑管理事務所 ☎03-3213-1111 宮内庁

皇居「内」に入り、江戸城の遺構を間近に見られる。二の丸庭園が人気。

・皇居の東側にある旧江戸城の本丸・二の丸庭園。約21ha。入場無料。開園09:00。閉園は時期に

6. 横 浜

江戸末期までは、入り江（現在の横浜市中心部）に突き出た半島にある小さな村だった（当時の中心は神奈川宿・神奈川湊）。1854年の日米和親条約（通称 Kanagawa Treaty）締結時に協議の場となり、1858年の日米修好通商条約を機に開港場や居留地が設置されたことで、その後大きく発展した。横浜港の開港は公式には1859年。1989年にはMM21地区で横浜博覧会 YES'89（市制100年、開港130年）、2009年には開国博 Y150（市制120年、開港150年）が開催された。

現在の横浜市は、東京特区部の約950万に次ぐ人口約377万人を擁し、東京とともに巨大都市圏を形成している。（大阪市よりも人口が多いが面積も2倍近い。人口密度では大阪市より低い。）東京駅～横浜駅は約30km、JR在来線で25～40分前後。私鉄各線のアクセスも良い。利便性に加え、あかぬけたイメージがあり、各種アンケートの「住みたい街ランキング」では1位または上位の常連でもある。

横浜港は日本有数の国際貿易港。需要が拡大するクルーズ客船の拠点港を目指して整備が進められてきた。大さん橋に加えて、2019年4月には超大型客船も着岸できる大黒ふ頭に客船ターミナルが整備され、秋には新港ふ頭客船ターミナル（横浜ハンマーヘッド）がオープン。2020年には、本牧ふ頭、山下ふ頭を合わせた5つのふ頭で、一度に最大7隻を受け入れ可能となった（ただしその後のコロナ禍で7隻同時着岸の実績はまだない）。2019年には、客船の寄港する土日祝日を基本とする特定日時に、横浜ベイブリッジの横浜スカイウォークが9年ぶりに開放されることとなり、通過する客船を見物できるようになった（リニューアルを経て2022年6月に再オープンした）。

2019年ラグビーW杯、2020東京五輪の開催を契機に、さらなる開発が進んだ。オリンピックの野球・ソフトボール会場となった横浜スタジアムは収容人数29,000から35,000へ6,000人増席。2019年9月にはみなとみらい21（MM21）地区に1棟の客室数日本最大（2,311室）のホテルも開業した。2020年には、桜木町駅前と新港地区（運河パーク駅）を3分で結ぶ630mのロープウェイ横浜エアキャビンが開業した。関内地区は、横浜市庁舎が桜木町へ移転したことと相まって、かつての活気は薄れたが、野毛地区の飲み屋街が昨今、若者の夜の人気エリアになりつつある。

クルーズ客船からのショアエクスカーションや、パシフィコ横浜（横浜国際平和会議場）などでの国際会議やイベント参加者を対象としたツアーなど、横浜発着の観光もあれば、見本市・展示会への参加や客船への送迎に伴う観光の形もあり、時間も訪問先も多様。東京からの日帰りや、鎌倉や箱根と組み合わせることもある。横浜発着で都内や鎌倉の日帰り観光をする場合にも、横浜の紹介が必要になる。

日本人にとっての横浜観光の魅力やイメージは、開港場・外国人居留地であった歴史や異国情緒などによるところも大きい。訪日客に横浜をどう紹介するか、さまざまな切り口やキーワードを探すこと。

* 東京・鎌倉・箱根エリアと結ぶルートについては4 富士山・箱根の項を参照。

* クルーズの仕事や客船ターミナルについては、テキスト【1】「クルーズ」参照

◆ガイディングのヒント：

- ・黒船、明治維新、日本の近代化
- ・横浜から日本に入ってきたもの、「日本で最初の・・・」・横浜から輸出されたもの
- ・現在の日本の貿易相手国、主な輸出入品目 → 産業構造
- ・日本の発電、エネルギー事情
- ・中華街
- ・橋について
- ・住宅事情、生活事情
- ・横浜に本社のある企業（日産自動車、いすゞ自動車、京浜急行、オカムラ、等）
- ・姉妹都市：サンティエゴ、リヨン（フランス）、ムンバイ（インド）、オテーサ（ウクライナ）
バンクーバー、マニラ、上海、コンスタンツァ（ルーマニア）